

第 16 回 日本医療薬学会年会のご案内

この度、「第 16 回日本緩和医療薬学会年会」において、下記の内容に関するシンポジウムを開催する運びとなりました。詳細は、ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/16jpps/index.html>)をご覧ください。先生方のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

- ・タイトル：保険薬局薬剤師の緩和医療における地域での取り組み

- ・趣 旨

がん患者やその家族は、身体的症状に加えて精神心理的問題、経済的問題など、様々な問題に直面している。こうした中で患者やその家族の不安や苦痛を和らげることを目的に多職種が専門性を発揮して協働しながら地域の中で緩和医療を実践している。保険薬局の薬剤師は、薬剤の適正使用に関する指導、治療効果・副作用のモニタリングに基づいて処方提案を行う。

また、緩和ケアと同時にがんのレジメン等を把握し、医療機関への情報提供を行うなど、その役割は多岐にわたる。しかし、在宅医療の中で薬剤師が患者と関われる時間は限られており、その限られた時間の中で薬物療法の安全性を担保し、患者の QOL を高めるための最適な処方提案を薬学的知見から行わなければならない。本シンポジウムでは実際の保険薬局薬剤師の緩和医療における地域での取り組みから、多職種協働の中での薬剤師の役割について皆さんと一緒に考えていきたい。

- ・座 長：土井信幸（高崎健康福祉大学薬学部）、宮崎菜穂子（せや在宅クリニック）

- ・演 者

- ① 齊藤祐次（(一社) 埼玉県薬剤師会）

「薬局薬剤師の親が緩和ケアを望んだ時。

本人の意向と家族の思いをどのようにまとめていくか」

- ② 猪股鉄也（かくの木薬局 新堀店）

「終末期患者とその家族に伴走する薬局薬剤師」

- ③ 池田里江子（BFC 株式会社ふれあい薬局飯能店、飯能地区薬剤師会、(一社) 埼玉県薬剤師会）

「地域に根ざす在宅医療を目指して」

- ・開催日時：2023 年 5 月 27 日（土） 午前 9 時 30 分～午前 11 時

- ・取得単位：日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師、日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師、
日本医療薬学会 がん専門薬剤師、日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師

- ・参加費

日本緩和医療薬学会 会員：¥11,000

非会員：¥13,000

* プログラム・要旨集は、1 冊 2,000 円で販売します。

(一社) 所沢市薬剤師会 加藤 剛

(第 16 回日本緩和医療薬学会年会プログラム委員)